

第2回金山駅周辺まちづくり構想懇談会 議事要旨

○日時：平成27年7月29日（月）9時30分～11時50分

○場所：名古屋都市センター14階 特別会議室

○参加者：18名（随行者、傍聴者、事務局等除く）

1. 第1回の懇談会の確認事項について

発言者	内容
松本委員	昼夜間人口比率の変化を見ると、まちが都市化してきていることがわかる。緑被率について特に駅前あたりは低い。単身率が全体的に高い。以上、前回のおさらい事項である。

2. 金山地域の現地視察・意見交換について

発言者	内容
松本委員	大勢の人々がいて、意外性があった楽しかった。しかし緑が少ないことがもったいないと感じた。帰り道に高級なレストランやお菓子屋さんに行ったりしてもらえるような仕掛けをつくりたい。
JR 東海 企画開発部課長	地下鉄から市民会館へ地下通路が繋がっていることについて、当時としては画期的だったと思うが、今後整備する際はバリアフリーの観点が必要。また、公共交通機関を使ってほしいという思いもあり、回遊性を広げて賑わいを創出することと逆行してしまうかもしれないが、なるべく駅から短い距離でアクセスできると良い。
松本委員	実際に短くするのではなく、短く「感じられれば」良いと思う。個人的には通路途中に吹き抜けが作られると良いと思うが法律的にはやはり難しいのだろうか。
住宅都市局 まちづくり企画課長	法律の制約上厳しい。
松本委員	例えば、名古屋駅の地下街からミッドランドスクエアへアクセスする際にある、吹き抜け部分を作るという方法は可能なのではないか。

住宅都市局 まちづくり企画課長	ミッドランドの場合、防災上の観点から、地下街から建物へ直接アクセスする場合、吹き抜けを作らなければいけない。ただし一方で吹き抜けは店舗の連続性を損なうので、もう少し規制を緩めてほしいという意見もある。
松本委員	栄のアネックスビルの吹き抜けもなかなか良いと感じるが、確かに店の連続性が途切れるということはある。
名鉄事業企画部 企画担当課長	地下道から市民会館への地下通路はもう少し薄暗いイメージがあったが明るくなったと感じた。
松本委員	やはり、人は暗い方には行きたくないというのはあるので明るくしたい。
交通局 電車施設課長	地下通路はもう少し開放的な方が良い。そうすればもう少し着目される地域となるのではないかな。
松本委員	今まで個別に建てられて建物の、繋がりを考えたい。北口の広場に立った時感じたが、もっと向こうに行きたいと思わせるような仕掛けが必要。そうしないと目的がある人しか北側に行かない。また、行きは地下道を歩き、帰りは地上を歩く、というように往復で別ルートを通りたいと思わせる魅力がほしい。水や木、花があり、太陽の光など自然を感じられるような空間であることは重要である。
鈴木委員	地下へ降りた時、道がどこにつながるのかわかりづらく、歩きにくい。地下鉄から市民会館へのアクセスは比較的連続性が感じられるが、名鉄・JRから市民会館へのアクセスを考えるとルートのイメージがわからないため、動線を融合するなど、何かしらの策が必要である。 駅の南側の案内看板を見ると多国籍だが、駅構内は英語・日本語しかない。また、例えば JR 改札から北口のタクシー乗り場を目指そうと考えた場合、たどって行きたくても途中で看板がなくなってしまい、人を連続的に誘導するサインが不足している。 市民会館周辺を歩いた時、仮に沿道に魅力的な店があれば立ち寄ってもらえるかもしれないと感じたが、現行の歩道では幅員が狭く、脆弱で、緑も少ないため魅力に欠けるというマイナス要因がある。市民会館の西側道路については、例えば一方通行にして歩道幅員を広げて歩きやすくすることで、地上と地下のそれぞれの通路を差別化していく方法もあると思う。また、アスナル北側の都市計画道路の広い空間であるという特徴も、市民会館へうまくアプローチできる仕組みづくりに活用すべきと考える。

前川委員	次の3点を重要と考える。①栄、名駅との差別化を考え、劇場文化を中心とする。②劇場に来る客は女性が多いということもあるが、障害のある人への対応も含め、ダイバーシティ、多様性のあるまちづくりを目指す。③緑が多くエコで、災害に強いまちづくりを目指す。帰宅困難者への対策もよく考えなければいけない。
松本委員	金山というとかつて安全面で不安なイメージがあったが、音楽もあり高級で、先進的なイメージに変わった。文化の発祥地と感じた。 立て看板が多すぎて視線が遮られる。いらないものを整理することも考えるべきである。

3. アンケート（案）について

発言者	内容
松本委員	アンケートのサンプル数は集まりそうか。
名古屋まちづくり 公社経営企画室長	2千となるとハードルが高い。
松本委員	配布数はどのくらいか。
住宅都市局 まちづくり企画課 企画係長	事業者、居住者に対してはポスティングで、金山地域外の地権者には郵送で配布する。駅利用者については手渡しだが、同時に進め、回収数が足りないようであれば駅利用者で補う考えである。
松本委員	ポスティングについて、町内会からも呼びかけをすることで回収率は上がる。自身の地元の町内会で行った際、100%回収実績がある。アンケートの内容については良くできていると思う。
名古屋まちづくり 公社経営企画室長	区政協力委員を通じて事前に回覧してからポスティングした方が良い。
鈴木委員	調査対象について、外国人観光客の声を吸い上げることもした方が良い。その際はアンケート中の、金山南ビルやアスナルなどの特定の施設についての質問4や5については、実際行かない人やわからない人もいると思うので、別の内容に差し替えた方が良い。観光案内所などでヒアリングをする方法、または旅行会社に協力してもらう方法など、対応を検討したほうが良いのではないかと。 駅利用者アンケートの質問で、よく利用する施設や場所については、行った順番も把握できると良い。

松本委員	順番については矢印をつけるという方法がある。 外国人への調査の件はどうするか。
住宅都市局 まちづくり企画課 企画係長	検討したい。
松本委員	観光案内所に集まった外国人旅行者をターゲットにすれば、1ヶ所でまとめて行えるので効率的に調査できる。場合によっては大学からも協力できるかもしれない。
JR 東海 企画開発部課長	案内看板の言語が日本語と英語しかないという意見が出たが、あまりたくさん言語を並べると字が小さくなってわかりづらくなるという課題がある。そういった課題に対し、国交省でも議論されているが、観光客にはiマーク（観光案内所）のアピールを強化するのはどうかという話になっている。素早い確認が求められる事柄については英語と日本語のみを大きい文字で表示し、詳細な情報についてはiマークのついた観光案内所で案内するという方法が良いということである。
鈴木委員	金山駅の鉄道各社でデザインをバラバラにするのではなく、統一させることは重要である。
JR 東海 企画開発部課長	改札内は社内規定が厳しいが、改札の外であれば取り扱いが可能であると思う。

4. 金山駅周辺まちづくり構想（素案）について

発言者	内容
交通局 電車施設課長	P.10(3)「ターミナル機能の本格整備」とあるが、もう少し具体的な目的を記載した方が良いと思う。
住宅都市局 まちづくり企画課 企画係長	もともとどこまでのものを目指して記載されたものなのか、一度確認し、後日反映させたい。
JR 東海 企画開発部課長	駅北側にあるタクシー乗り場がわかりにくいという意見が出る一方で、市民会館の西側道路がなかなか良い動線となりそうだと感じた。しかし、どちらもアスナルの構造の関係で見えないというのが課題。市民会館の西側道路の動線については、歩道に文化の香りのするようなタイルを貼ったりして目立たせる方法はどうか。
松本委員	中山道でアスファルトの中に白っぽい石を混ぜて目立たせるという取組をしている例がある。地面の連続性は重要である。

JR 東海 企画開発部課長	川崎市のラゾーナ川崎には、デッキが設置されている広場があり、有名アーティストのライブイベントが頻繁に行われている。アスナルは規模が狭いので同じ議論はできないが、人をたくさん集められ、アーティストが来たくなるような整備ができると良いのではないだろうか。
住宅都市局 まちづくり企画課 企画係長	ラゾーナは参考になる事例と考えている。写真や資料などあるので、次回改めて紹介したい。
名鉄事業企画部 企画担当課長	P.15 のコンセプトはわかりやすいと思う。個人的にも楽しみに感じるが、気になっている点の一つある。前回、市民会館の建て替えを金山以外の場所にすることもありえるという話が出たが、もしそうならコンセプト自体大きく変わることにならないか。
市民経済局 文化振興室 (代理)文化施設係長	現在管理しているホールの 25 施設について、今後の維持管理費が厳しくなることが予想されるので、施設をある程度まとめることによって減らすという考えも持っている。こういった背景で、市民会館建て替えの際にタイミングが合えば他のホールとまとめて1つにすることも考えられる、という話が前回に、文化振興室長から出たと理解しているが、基本的には構想に乗っていく考えである。
松本委員	市民会館はキーストーンなので構想からなくなってしまうと困る。
交通局 電車施設課長	P.10 では市民会館の建て替えに慎重な向きもありつつ、一方で P.16 では建て替え、と記載されている。実際に建て替えが行われるのであれば、夢物語ではなく地下通路との新しいつながりも考えた包括的な計画ができると感じたが、実際のところどうか。
住宅都市局 まちづくり企画課長	今のところは構想段階なので、地下通路との計画等、制限をかけずできるだけ自由な発想で進めたいと考えている。
松本委員	地下通路が駐車場ではなく、屋外ステージにつながったりすると目的地も広がって良いと思う。
前川委員	アスナルの野外ステージは若い人を呼べる。また、古沢公園では遊んでいる子供を見たことが無いがもっと活用してもらえようようにして、回遊性を高められれば良いと思う。市民会館について、自身も頻繁に利用する立場として述べると、市民会館を利用する、とりわけ女性はその非日常的なイベントの中にあってテンションが高くなっているため、行き帰りの道中でお土産屋やグッズショップがあれば買い物をする可能性が高い。

	また、音楽は世界共通なので、外国人を誘致する材料にもなるだろう。例えばパリの劇場は最初はフレンチカンカンから始まり、今は世界各国から人が集まるようになった。
松本委員	人を集める方法を考えなければいけない。今は、公園は遊具を置くより水場や芝生にしたほうが人が集まる。また、地下街はお台場のビーナスフォートを例に、非日常的な空間を演出するという手もある。
市民経済局 文化振興室長 (代理)文化施設係長	市民会館は良い音楽、芝居を鑑賞する場所として、名古屋市を代表するホールであり、表通りに面して高級感ある構えをしている。建て替える際の代替地は、名古屋市を代表するホールの構えができるくらいの土地の面積が必要であると考えており、計画の際には考慮いただきたい。
松本委員	人間的なスケールである市民会館の西側道路がポイント。観劇後、人々に西側道路に抜けてもらうことで、様々な店も繁盛するだろう。劇場の荷捌き用の動線をうまく対処することが必要だが、歩行者天国にもできると良い。人がそれぞれ行き交うのにはとても良い場所である。劇場の利用者は着飾ってくると思うが、その雰囲気に見合うものにしたい。観劇だけで終わらせないで、南側のボストン美術館など含め、1日楽しめるような場所になると良い。

5. その他（前回開催時の質問）について

発言者	内容
名鉄 事業企画部企画担当 課長	セントレア開港後の金山駅の乗降人員（1日平均）について、H16年：12万9千人⇒H26年：15万7千人となっており、開港後の10年間で2万8千人増加している。 一方、金山駅からセントレアへの輸送人員（1日平均）について、具体的な数字は公開できないが、ここ10年間でかなり増加している。